

-----10月24日----- 2022年

※ 今週のアウトルック(10/24~10/28)

先週、ドル円は週末のNY市場開始後に152円台目前まで進みましたが、一気に146円付近まで下落しました。

日銀の覆面介入が入ったとの見方が出ています。

一方、ユーロドル、ポンドドルなどは膠着状態となっています。

今週はまず、市場の関心が12月のFOMCでの利上げ幅が0.75なのか0.5なのかに向いていること、FRBの中でそろそろ利上げ幅を減速するべきとの意見が出始めていることなどが、円売りにどう影響するのかが、注目されそうです。

先週のドル円は、週末に152円目前まで円安が進みましたが、NY市場開始後、一気に146円付近まで下落しました。

日銀の覆面介入との見方が出ています。

その後、148円台中盤まで回復する場面もありましたが、147円台後半でNY市場を終了しています。

今週は、12月のFOMCでの利上げ幅に注目が集まる中、FRBの今後の利上げ方針についてのコメントなどについても注目が集まりそうです。

また、日銀の介入に関する警戒感も強くなっており、152円を超えて155円を目指す展開というの、なかなか難しいように思います。

ドル円の予想レンジは145円から153円です。

先週のユーロはユーロ円上昇、ユーロドル膠着状態という状況になりました。ユーロ円も金曜日のNY市場開始後は、145円台まで戻しています。

今週は、日銀の介入警戒感が強い中、円売りを試す場面もありそうですが、米国の12月以降の利上げ幅も考慮に入れながら展開となりそうです。

場合によっては、ユーロドルが1.025付近まで戻す状況も考えられるかもしれません。

ユーロ円の予想レンジは140円から150円です。

ポンドも英国の政治的混乱が続く中、ポンドドルが膠着状態となり、ポンド円も170円を超えての上昇は難しくなっているようです。

ポンド円の予想レンジは160円から170円です。

市場の関心が12月のFOMCでの利上げ幅に集まる中、FRB内でも今後の方針について、意見が分かれてきているようです。そろそろ、ドル独歩高終息の始まりという可能性も出てきているように思います。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。